

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2015年1月14日

仙台・岡田児童館「オリジナルエコバッグ作り」

近くの田んぼの肥料として牛糞が撒かれていたらしく、みんなで「くさいね。くさいね」と笑いながらの作業。外を下校してゆく上級生たちも、みんな口をふさいで、猛ダッシュで帰る子もみられます。

シール付きのフェルトを使い、リボンのかたちを切り抜いて貼ったり、レースをつけたり、とてもフェミニンな作品をパールックのように作った女の子2人組は、写真を撮るときも一緒です。

妖怪ウォッチやムーミン、スポンジボブなどのキャラクターを巧みにえがいているのは、男の子たち。クレヨンで描くだけではなく、そこにかっこ良く、ボタンをあしらったりしています。

難しい位置に、生地をちゃんと針と糸で縫い付ける作業に、果敢に挑戦していた女の子たちは、先生の助言をしっかりと聞いて、なかなかの仕上がり。

そして、バッグの底にまで、絵があったのには、わたしたちもビックリ。

グルーガンを使って、デザイン的にモールやポンポンを付ける子たちの、たちまちの上達ぶりも見事なものです。

最初、先生にお願いばかりして、作品づくりを進めていた男の子も、最後の方には、自分で針と糸を持ってお裁縫をはじめてくれました。

プログラム中、現在5年生の児童館卒業生の女の子3人と窓越しに再会。ガラス戸を開け、すっかり思い出話で盛り上がりすぎてしまったりもした、今回の岡田児童館のワークショップなのでした。

